

火山はなぜ高くなるのでしょうか？それは、何千回もの噴火によって次第に高くなって行くからです。この実験では、数回の噴火実験で、火山が高くなって行く様子を観察します。使うモデル溶岩は、茨城大学理工学研究科藤縄研究室の中谷咲子さん、及川敦美さん、伊藤太久さん、須藤雄介さんが発明したチョコプリン溶岩です。溶岩が固まる様子や、溶岩が積み重なる様子が分かります。

ようい
<用意するもの>

[チョコプリン溶岩100ml分]

1. チョコレート50ml分
2. 牛乳50ml
3. ゼラチン6g
4. 注射器
5. ボウル大・小1つずつ
6. 泡だて器(小さめのもの)
7. 電子レンジ
8. ビーカー
9. お湯

せいそう かざんじっけんよう
[成層火山実験用]

10. 穴のあいたアクリル板
(穴の大きさは2mmくらい；
丈夫な板なら何でも良い)
11. 三脚 (アクリル板をのせられる
ものであれば何でも良い)
12. 注射器 (針なしのもの)



何回もの噴火によって日本一の高さになった富士山



何枚もの溶岩流が見える富士山の断面 (宝永火口)